

旅人を包む、  
五百の物語。

山形県広報誌 | No.651

# 県民のあゆみ

2026

5

令和8年5月号

Proud Yamagata  
山形の誇り

Our Local Treasures, A Global Invitation  
地域の宝、世界への招待

今月の  
表紙

善寶寺五百羅漢堂（特別許可を得て撮影）。米国メディアの「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に山形県が国内で唯一選出されました。県内には多くの見どころがあります。新緑の季節にぜひお出かけください。

# 生活経済対策・新生やまがた未来予算

国際情勢の不安定化による社会経済環境への影響がみられる中、少子高齢化を伴う人口減少の加速や人手不足の深刻化、物価高騰の長期化といった課題に対応しつつ、これまでのあゆみを大切にしながら新たな一步を踏み出し、県民の皆さまとともに山形県の明るい未来を切り開いていくため、令和8年度当初予算を編成しました。その概要と主な事業を紹介します。

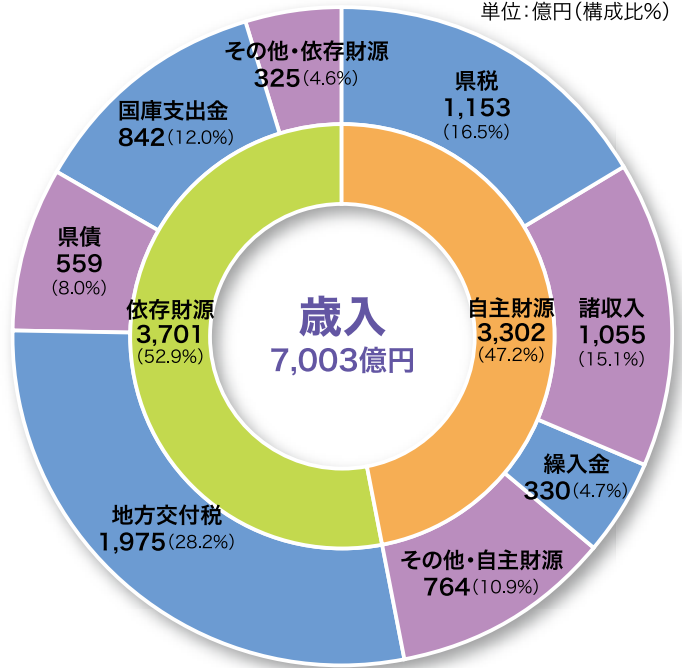
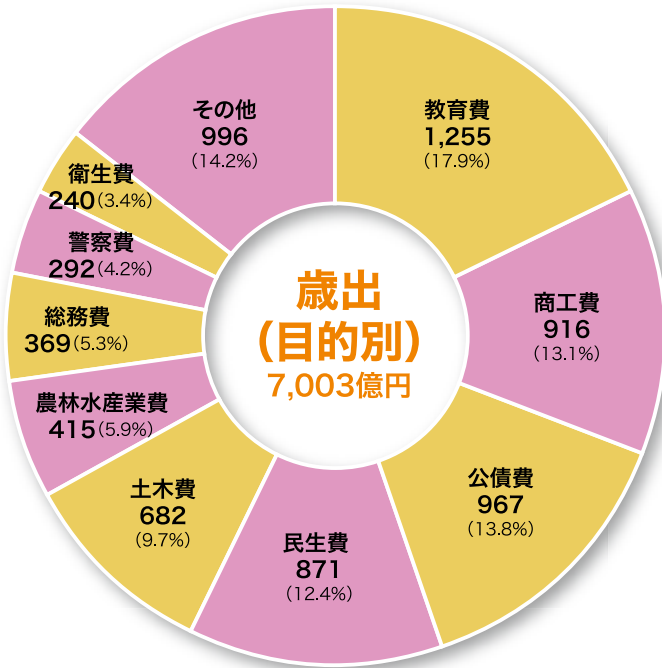
詳しくは▼



## 令和8年度一般会計予算 7,003億円

前年度比249億円増、3.7%増

単位：億円（構成比）



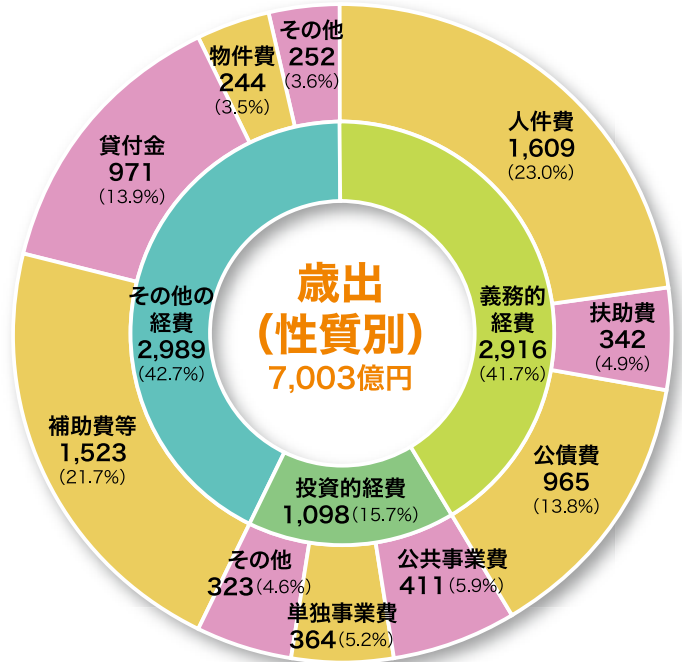
注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

### ◆県債残高の見込み

今年度末の県債残高の見込みは、1兆1,211億円となり、前年度当初予算編成時点と比べて、177億円の減少を見込んでいます。また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債、補正予算債、災害復旧事業債および国土強靱化関係事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで6,142億円となり、前年度の同時期と比べて33億円の増加を見込んでいます。

### ◆調整基金の残高

今回の予算編成において、220億円を取り崩し、今年度末における残高は112億円と見込んでいます。



### 用語解説

歳入

**地方交付税** 自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金  
**県債** 道路整備・学校建設などの目的で県が借りるお金  
**国庫支出金** 農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

歳出

**公債費** 県債返済などに使うお金  
**民生費** 生活保護などの社会保障のためのお金  
**衛生費** 医療や健康増進、環境保全などのためのお金  
**扶助費** 児童手当や生活保護などに使うお金  
**補助費等** 市町村または民間に対する補助金など

# 1 県民のウェルビーイングの向上に向けた取組みの推進

(新)新規、(拡)拡充、(継)継続

**新** 県政150周年を記念した事業の実施

1500万円

明治9年(1876年)8月21日に現在の県域が確定し、今年で150周年を迎えることから、記念式典を行うとともに、県立博物館における特別展や山形交響楽団による記念コンサートを開催します。

**新** 結婚観の醸成を起点とした出会いの機会の創出から成婚までの切れ目のない支援

1700万円

結婚を前向きに捉えられるよう結婚・子育ての良さや楽しさの発信、多様な出会いの機会の創出、企業等を含めた社会全体での応援などパッケージで展開します。

**新** 県立米沢女子短期大学の男女共学化など魅力向上に向けた取組み

400万円

男女共学化など、米沢女子短期大学がより魅力を高めて学生に選ばれる大学になるための取組みを進めます。

**拡** 県立学校の校舎整備等の推進

31億2900万円

新庄志誠館高等学校整備、上山高等養護学校・山形盲学校改築、県立高等学校のトイレの洋式化や特別教室へのエアコン整備等を進めます。



上山高等養護学校・山形盲学校改築完成イメージ

**新** 山形交響楽団による音楽鑑賞や交流機会の創出等

4400万円

山形交響楽団による地域の文化ホール等でのこともたちへの音楽鑑賞会の開催や、本県の魅力ある文化資源等と組み合わせた交流型イベントの開催等を通して、音楽鑑賞・交流機会の創出・拡大を図ります。

**拡** 新博物館・新スポーツ施設の整備検討

5800万円

新博物館・新スポーツ施設(県による多機能性を有する屋内スケート施設と山形市による体育館・武道館機能を有する地域住民のためのスポーツ施設の整備に向けた検討を進めます。

**拡** 米沢トンネル(仮称)の整備に向けた共同調査・鉄道沿線の活性化に向けた取組み

5億2200万円

山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備の早期事業化に向け、JR東日本と共同で、設計の一部である地質調査・測量に先行着手するとともに、将来の費用負担に備えた基金の積立や沿線活性化・利用拡大につながる取組みを進めます。



**拡** 山形・庄内空港の機能強化に向けた「空港将来ビジョン」の策定、概略設計等の実施

9900万円

地域の発展のために山形・庄内両空港に求められる役割と、その実現に向けた空港機能強化の方向性を「空港将来ビジョン」として策定します。ビジョンの策定にあたり将来需要予測と空港施設の概略設計を実施します。

## 他の主要事業

0～2歳児の保育料無償化に向けた段階的な負担軽減	9億4,500万円
<b>新</b> 卵子凍結等に関する正しい知識の普及と費用の助成	900万円
<b>新</b> 県立夜間中学の令和9年4月開校に向けた環境整備	900万円
<b>拡</b> モンテディオ山形の新スタジアム建設に対する支援	5億9,100万円
<b>新</b> 戦争に係る歴史と記憶の継承	400万円

※予算額は、百万円単位で四捨五入した金額

## 2 県内経済の持続的な成長に向けた取組みの推進

**新** 「年間売上100億円以上」を目指す企業への支援  
6500万円

本県経済を牽引し、県内経済に波及効果を生む年間売上100億円以上の企業を増やすため、関係機関がオール山形で連携し、100億円企業を目指す中小企業の成長戦略の策定や売上増加に向けた設備投資等を支援することにより、若者や女性から選ばれる魅力的な就業の場の創出・増加に取り組みます。

**新** クリエイティブ産業の創出・拡大  
700万円

本県におけるデザインやアニメ、ゲームなどのクリエイティブ産業の創出・拡大に向け、人材育成や本県にゆかりのある漫画などのコンテンツ活用などを進めることにより、魅力的な就業の場の創出などに取り組みます。

**新** インベーション創出に取り組む産学官連携拠点の設置・運営  
1億600万円

付加価値の高いものづくりを実現するため、産学官連携拠点を開設し、大学と県内外の企業との交流イベントなど多様な人の共創を促す仕組みを構築することにより、新事業の創出などに取り組みます。

**新** 農工連携による山形発スマート農業機器の開発と実装の推進  
3000万円

「さくらんぼ果樹王国やまがた」を次世代へ繋いでいくため、農工連携により山形発のスマート農業機器の開発と実装を推進し、さくらんぼ栽培の省力化と規模拡大に向けた取組みを進めます。

**新** 水稲新品種「ゆきまんてん」の生産体制整備および流通販売の推進  
※令和7年度2月補正予算含む  
4000万円

地球温暖化に対応した高温耐性のある水稲新品種「ゆきまんてん」の令和9年デビューに向けて、安定した生産体制の構築と、ロゴマークの作成やプレデビューイベントの開催などの販売流通対策に取り組みます。



**新** 関係人口創出・拡大に向けた市町村との連携体制構築および情報発信の強化  
2200万円

県と市町村が一体となって関係人口施策を推進するため、新たな連携体制を構築するとともに、AIを活用した情報発信や、都内でのイベント開催など、より多くの関係人口の誘導に向けた情報発信の強化に取り組みます。

**新** 世界的観光地としてのインバウンド受入環境整備  
※令和7年度2月補正予算含む  
1億1700万円

本県が世界的な観光地として国内外のさまざまな方々を迎え入れ、再び訪れたいと感じていただけるよう観光地などを結ぶ二次交通の態勢整備への支援、プロガイド人材の育成、観光施設等における多言語化対応などへの支援を行うほか、国立・国定公園において多言語案内板を設置するなどインバウンド受入環境整備を進めます。

### 他の主要事業

<b>新</b> 医療系スタートアップの創出に向けたラボの整備や実証事業の展開	8,000万円
<b>新</b> 衛星データを活用した農地集積・集約化の促進	1,900万円
<b>新</b> 庄内海岸林再生事業	11億2,100万円※
<b>拡</b> 外航クルーズ船誘致と受入態勢強化	3,400万円

※令和7年度補正予算含む

### 3 安全・安心な地域づくりに向けた取組みの推進

**拡** 西村山地域の新病院整備に向けた基本設計・体制整備  
4600万円

令和13年中の開院を目指し、基本設計・実施設計に着手するとともに、診療体制や運営体制の整備など、開院に向けた準備を着実に進めます。

**拡** 山形県版クマ被害対策パッケージ  
4億2800万円

生息状況や被害実態の把握、人の日常生活圏への侵入防止、過剰な個体の捕獲、被害防除体制の整備について取組みを総合的に進めることで、県民の安全・安心の確保に努めます。



**拡** 防災学習の展開と防災学習館の機能強化  
1億円

「地域における防災学習アクションガイド」を踏まえた防災学習を展開するとともに、本県で起こり得る災害の疑似体験を通して防災知識や技能を習得できるよう、県防災学習館の機能強化に向けた基本設計・実施設計を実施します。

**拡** 河川の堆積土砂・支障木の撤去および土砂の再堆積抑制対策の強化  
21億5000万円

近年の豪雨により、洪水浸水被害が多く発生していることを踏まえて、河道内の堆積土砂・支障木の撤去や土砂の再堆積を抑制する対策の強化などにより被害の軽減を図ります。

#### 他の主要事業

<b>拡</b> 診療所の承継支援や医療機関の勤務環境改善支援等による医師確保対策	8億7,000万円
<b>新</b> 歩行訓練士の配置による視覚障がい者に対する支援体制の整備	500万円
<b>新</b> 視覚障がい者や外国人などに配慮した音声(多言語)による災害情報の提供	300万円
令和6年7月大雨で被災した公共土木施設の復旧・改良工事	68億円
<b>新</b> 全国特別重点調査を踏まえた下水道管路の改築工事(流域下水道事業会計)	10億2,100万円

#### ピックアップ!

### 物価高騰への支援 (主なもの)

エネルギーや食料品価格の高騰が長期化し、県民生活、事業活動に大きな影響を及ぼしていることから、生活者・事業者への支援を切れ目なく重層的に実施します。

#### 子育て世帯・若者への支援

- 低所得のひとり親世帯への県産米提供
- こども食堂などへの県産米提供
- 学生に対する食の支援

#### 家庭向けの支援

- 省エネ性能の高い家電への買換え支援
- 低所得の高齢者世帯等へのエアコン設置支援
- 防犯用品購入キャンペーンの実施

#### 中小企業などへの支援

- 中小企業などにおける設備投資等への支援
- 海外への販路拡大支援
- 経営力強化に向けたM&A成立支援

#### 地域公共交通・運輸関係事業者への支援

- 路線バス・トラック運送事業者への支援
- 大型免許・二種免許取得費用への支援
- 路線バス運転手確保等の取組みへの支援

#### 農林水産業者への支援

- 保温性等の機能性に優れた園芸用ハウスの導入支援
- 省エネ・省力化・省コスト化設備導入支援
- さくらんぼの受粉用ミツバチや花粉の導入支援



詳しくは▼



Kensei  
Topics  
1

## 持続可能で明るい山形県の未来へ「共創宣言」!

「第3回やまがた未来共創会議」(令和8年2月17日 山形市)

人口減少が進む中であっても官民が連携して持続可能で明るい本県の未来を考える「やまがた未来共創会議」の第3回会議を開催しました。

会議では、持続的な発展と県民の幸福(ウェルビーイング)の実現を目指して、産業・教育・行政などオール山形で連携・協働し、新たなアクションに挑戦する「やまがた未来共創宣言」を採択しました。今後、この宣言に基づき各団体がアクションを実行していきます。



Kensei  
Topics  
2

## 東日本大震災から15年—追悼・復興祈念事業を実施

「3.11キャンドルナイト『追悼・復興への祈り』」(令和8年3月11日 山形市、米沢市)

東日本大震災の発生から今年で15年を迎えました。震災の教訓を語り継ぎ、次の世代につなげるため、文翔館(山形市)と米沢市市民文化会館で「東日本大震災追悼・復興祈念事業」を執り行いました。

山形会場ではキャンドル点灯に加え、VRゴーグルによる災害疑似体験など、米沢会場では被災地支援活動に関する講演会などを実施しました。今後も教訓を生かして防災・減災の取組みを進めてまいります。



Kensei  
Topics  
3

## 持続可能な地域へ—2年間の研究成果を公表

最上地域政策研究所 第7期研究活動終了式(令和8年3月12日 新庄市)

最上地域政策研究所は、最上管内8市町村と最上広域市町村圏事務組合、最上総合支庁が共同で設置した機関です。各自治体職員がメンバーとなり、地域課題の調査・研究を通して職員の政策形成能力の向上を図っています。第7期は「新たな財源の確保等による持続可能な地域展開」をテーマに、2年間にわたって研究を進め、このたび研究活動終了式を行いました。研究成果報告書は県のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



## 4月から公立化～東北公益文科大学～卒業式

令和7年度東北公益文科大学卒業式(令和8年3月21日 酒田市)

東北公益文科大学の卒業式と大学院修了式が挙行されました。この日、公益学部を卒業した235名、大学院公益学研究科を修了した11名、合計246名が学びの節目を迎え、開学以来の累計は卒業生4,064名、修了生187名となりました。

東北公益文科大学は、4月から公立大学となりました。新たなスタートを切った大学の教育や研究がより一層充実し、地域との連携が進むよう、庄内地域の2市3町とともに支援していきます。



## 未来の県政を支える新しい力

「令和8年度新規採用職員辞令交付式」(令和8年4月1日 山形市)

新規採用職員の辞令交付式を行い、県政を支える158名の新たな仲間を迎えました。新たに採用された職員は、高い使命感を持ち、信頼される職員となるために、今後研修を受け、実務に取り組みます。県はこれからも県民の皆さまの声に耳を傾け、地域と連携して信頼される行政運営に努めます。なお、現在、令和9年度の採用に向けた山形県職員(大学卒業程度)採用試験の受験申込みを受け付けています。県の仕事に関心のある方はぜひご応募ください。

知(事)  
コラム山形の未来を拓く、  
ものづくりの技術!

先日、世界最長のバッテリー駆動時間を誇るAI搭載の軽量ノートパソコンを県にご寄贈いただきました。世界最長つてすごいことですよ!

軽さと長いバッテリー駆動時間という相反する要素を両立させたこのパソコンは、国内大手メーカーの核拠点である米沢市の工場で開発・生産されたものです。世界トップクラスの技術を有し、製品の軽さや性能で常に業界首位を争う国内屈指の工場です。

また、記者会見の映像を通して話題を集めた高市総理ご愛用のボールペン。なめらかな書き心地が特徴のこの製品は、川西町にある工場で製造され、全国に出荷されているんですよ!

これらの優れた製品づくりには、高度な技術と日々の研究開発への積み重ねが不可欠です。「真面目で堅実、忍耐強い」という県民性が、こうした一流のものづくりを支えていると思います。

本県のプロジェクトでも、製品開発の知見を農業分野に応用し、本県のシンボルであるさくらんぼ栽培の省力化と規模拡大に向け、山形発のスマート農業機器の開発に取り組んでいく予定です。

ものづくりの技術は本県の大きな強みです。こうした強みを生かし、県内経済をさらに活性化させ、山形の未来を切り拓いていきましょう!



山形県知事 吉村美栄子

# 奏であう人

vol.86



たか かし しん いち  
**高橋 伸一**さん(真室川町)

1975年真室川町生まれ、同町在住。町役場で地域ブランドづくりに携わる中、伝承野菜や藁細工、伝統行事など地域に残る営みの価値に気づく。農家の5代目として家業を継ぎ、伝承野菜の栽培と手仕事を両立。工房ストローとして商品開発や、ワークショップにも取り組みながら、地域文化を仕事として成立させる実践を重ねている。



写真/志鎌康平

現代の暮らしに合わせ、大きさや形を整えた藁細工の作品。工房ストローは、春から秋は野菜を育て、冬には手仕事に向き合うという農家の営みを軸に活動している。百の仕事を担う「百姓」の考えを大切にしながら、地域の循環の中で伝統を次の世代へつなごうとしている。

受け継ぎながら、変えていくこと



さ と う はる き  
**佐藤 春樹**さん(真室川町)

1981年真室川町生まれ、同町在住。2010年に就農し甚五右エ門芋の栽培を始める。2017年から祖父の果樹園を継ぎ、りんご栽培に取り組み。有機栽培を軸にジュースやシードルへと展開し、栽培と加工の両方で有機JAS認証を取得。現在はりんごりらっば醸造所を立ち上げ、新たな展開を視野に地域の果実を生かしたもののづくりを続けている。



自ら栽培した有機りんごを原料に、自社工場で製造するジュースやシードル(りんごのお酒)。栽培から加工まで一貫して手がけ、ラベルには有名絵本作家のイラストを採用するなど、商品の魅力を高めている。祖父の畑から始まった営みを発展させ、未来へつないでいる。

伝承野菜栽培や藁細工に取り組み高橋伸一さんと、有機栽培のりんごを使ったジュースやシードルを製造する佐藤春樹さんに、受け継いだ営みを守りながら地域に根ざす仕事をどう未来へつないでいくのかをお聞きしました。

## 当たり前前の日常にある、 宝物に気づいて

「ありふれたものの中に、宝物が眠っているのかも知れません」。

そう語る高橋さんは、十数年前に町役場で地域ブランドづくりを携わっていました。当時、真室川町に伝承野菜はないとされていましたが、探し続ける中で甚五右衛門芋じんごえもんいものような長く守られた作物が見つかったと言います。

「伝承野菜や手仕事、伝統行事を訪ね歩いて気づいたのは、それらが特別に守られているのではなく、日々の暮らしに紛れているということ。身近だからこそ価値に気づきにくい。でも、作られなければ種は途絶えてしまうのです」。

継ぐ人がいなければ続かない現実を前に、高橋さんは家業の農業を継ぐ決断をしました。二十年以上勤めた役場を離れ、農繁期は畑に、農閑期は菓細工に向き合う暮らしが始まりました。

一方、佐藤さんも祖父から受け継いだ新庄市のりんご畑を守ってきま

した。

「豪雪を乗り越え、祖父が苦勞して開拓し守り続けてきた畑を、終わらせたくないと思いました。最初は生食用の販売も考えましたが、農業に頼らず、環境にやさしいりんごジュースをつくりたいと考え、有機JAS認証を取得しました」。

現在、ジュースの生産は年間数万本規模へと成長し、工場を設立。日本ですべて栽培と加工の両方で有機JAS認証を取得しました。

「栽培と加工の両方で認証を受けているからこそ、ジュースに有機JASマークを付けることができず。それが信頼につながり、購入してくれる方が増えました」と佐藤さんは話します。

その言葉に高橋さんは、「思いだけでは続かない。仕事として成り立たせなければ」と応じ、佐藤さんも「続けていくための仕組みを整えることは大事です」と応えます。

## 守るために、変えていく

高橋さんが農閑期に行う手仕事の

菓細工について語ります。

「菓細工は、昔ながらの姿を懐かしく感じる世代もいれば、逆に新鮮だと受け止める若い世代もいます。その受け止め方の違いに可能性を見だし、デザイン性を加えたり、届け方を工夫したりしながら新たな形を提案しています。かつて生活用品として使われていた菓細工も、現代の暮らしに合わせて用途や大きさを変えながら生まれ変わっているのです」。

佐藤さんがうなずきながら応えます。

「見せ方はとても大切ですよね。自信をもってつくったりりんごジュースですが、どうすればもつと手に取ってもらえるのかと考えた時、まずは商品そのものが魅力的に見えることが必要だと思いました。そこで、ラベルデザインや商品名を工夫し、より魅力が伝わるような商品づくりを心がけました」。

販売を通して、見せ方が価値を左右することを実感してきたというお二人は、商品の背景をきちんと伝えることで価値は変わると続けます。

## この土地で仕事を続ける ということ

「地域で続けてきた循環を、少しでも残したい。昔を語れる人がいなくなれば、この土地の個性そのものが失われてしまいかねません」。

そう話す高橋さんの言葉に佐藤さんがゆっくと言葉を重ねます。

「地域にしかないものを生かせば、仕事にもつながるし、その種は探せばまだあるはずですよ。見落とされているだけで、きつとどこかに眠っている。若い世代にも、その種探しに挑んでほしいですね」。

変えるというのは、壊すためじゃない。続けるために整えるということ。この土地だからこそ生まれる「物語」をどう未来へつなぐかという思いが、ひとつのテーマとして浮かび上がってくると話すお二人。

長く続いてきた営みを見つめ直し、新しい形へと整え、そしてそれを静かに積み重ねていく。お二人が語るその不断の歩みこそが、この土地の未来を支える力になっていくのではないのでしょうか。

## 2月定例会で採択した請願

- 山形県立河北病院と寒河江市立病院の統合に伴う透析施設の維持・継続に関する請願

## 2月定例会で可決した意見書

- 自衛官の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進を求める意見書
- イラン情勢の緊迫化による原油価格高騰等から国民生活と経済を守ることを求める意見書
- 教育環境の一層の充実を求める意見書
- 豪雪地帯特有の課題に対応した財政支援等の更なる充実強化を求める意見書
- 男系による安定的皇位継承の確保に向けた国会議論促進を求める意見書

詳しくは  
こちらから



## 令和7年度 議会政策提言

「防災減災・災害に強い県土づくり対策特別委員会」、「こども支援・若者定着対策特別委員会」、「再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策特別委員会」における1年間の審査・調査結果を踏まえ、県勢発展に向けた政策提言を県議会の総意として取りまとめ、3月17日、田澤伸一議長から知事に手渡しました。

### <審査・調査したテーマ>

- ① 県民のいのちとくらしを守る豪雨・豪雪対策の推進
- ② こどものウェルビーイングを目的とした環境づくりの推進
- ③ 再生可能エネルギーの導入拡大による地域活性化



詳しくは  
こちらから



## 県議会ギャラリーで 「山東探究塾」の研究成果を展示

県議会ギャラリーでは、2月定例会の期間中、県立山形東高等学校の2年次生が「山東探究塾」で取り組んだ研究成果を展示しました。

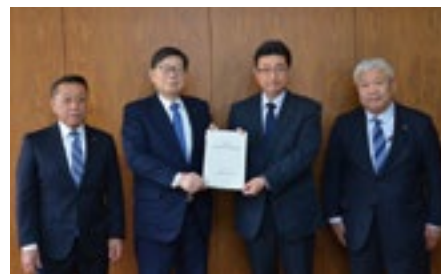


## 開かれた県議会に向けた広報・広聴事業の 取組みを議長に報告しました

県議会広報・広聴委員会では、県議会の活動状況を広く県民の皆さんに伝えるとともに、その声を広く聴き、県議会を身近に感じていただけるよう、取組みを進めてきました。

令和7年度は、広報誌の編集やテレビ広報番組の企画をはじめ、生徒・学生や女性・若者と県議会議員との意見交換会、議場演奏会、高校生による議事堂でのマルシェの開催など、多岐にわたって県議会の活動に関する広報・広聴事業の充実に努めました。

これらの委員会における1年間の取組みなどについて、3月12日、田澤議長に報告しました。



報告の内容は  
こちらから



## 新議員の紹介

遠藤寛明議員の辞職に伴って令和8年3月1日に行われた県議会議員上市区選挙区補欠選挙において、小松正和氏が当選しました。



小松 正和 議員



山形県議会ホームページは  
県議会の情報が満載です。  
ぜひご覧ください!!

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など



## 2月定例会の概要

令和8年2月定例会は、2月18日から3月18日までの29日間の会期で開催され、令和8年度一般会計予算案や令和7年度一般会計補正予算案など知事提出の68議案、議員・委員会提出の6議案を可決・承認・同意しました。また、請願1件を採択、意見書5件を可決しました。

今定例会では、2026年に行くべき世界の旅行先25選を契機とした今後のインバウンド振興や、県の結婚支援に関する現状と今後の取組みなど幅広い分野で活発な質疑質問が行われました。



着物姿で本県の伝統産業をPR

令和8年度各委員会の所属委員はこちらから



## 新副議長が決まりました



渋間佳寿美 新副議長

副議長選挙が行われ、第71代副議長に渋間佳寿美議員(米沢市選挙区)が選出されました。

## 2月定例会で 質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから



録画中継



会議録検索システム  
(※2月定例会分は  
6月以降に掲載予定)



広報誌  
「県議会やまがた」  
(公民館等で閲覧可)

### 代表質問 (2月26日)



自由民主党  
**柴田正人** 議員  
(南陽市選挙区)

◆ 2026年に行くべき世界の旅行先25選を契機とした今後のインバウンド振興 など



県政クラブ  
**高橋 淳** 議員  
(鶴岡市選挙区)

◆ 県の結婚支援に関する現状と今後の取組み など



自由民主党  
**相田日出夫** 議員  
(東置賜郡選挙区)

◆ 地域資源の継承を通じた持続可能な観光地域づくりの確立に向けた取組み など



自由民主党  
**能登淳一** 議員  
(村山市選挙区)

◆ 憲法への自衛隊の位置付けに対する知事の所見 など



県政クラブ  
**石川正志** 議員  
(新庄市選挙区)

◆ 東北農林専門職大学における教育の状況 など



県政クラブ  
**梅津庸成** 議員  
(山形市選挙区)

◆ 都市部での土地改良による生産性の向上 など



自由民主党  
**佐藤正胤** 議員  
(鶴岡市選挙区)

◆ 庄内空港の機能強化 など



自由民主党  
**加賀正和** 議員  
(尾花沢市・北村山郡選挙区)

◆ 豪雪災害対策本部の設置と災害救助法適用時における空き家の除雪 など

### 予算特別委員会 (3月4・5・6日)



自由民主党  
**阿部恭平** 議員  
(寒河江市・西村山郡選挙区)

◆ 西村山新病院 など



県政クラブ  
**佐藤 寿** 議員  
(酒田市・鮎海郡選挙区)

◆ 酒田港本港地区への小型クルーズ船寄港に向けた施設整備 など



自由民主党  
**伊藤香織** 議員  
(山形市選挙区)

◆ 農地中間管理機構 など



自由民主党  
**佐藤文一** 議員  
(新庄市選挙区)

◆ 障がい者の就労環境 など



県政クラブ  
**齋藤俊一郎** 議員  
(東根市選挙区)

◆ 山形空港の機能強化における新たな広域防災拠点の整備 など



自由民主党  
**五十嵐智洋** 議員  
(長井市・西置賜郡選挙区)

◆ 女性消防団員の確保 など



県政クラブ  
**吉村和武** 議員  
(山形市選挙区)

◆ 競技団体の現状認識と支援の在り方 など



自由民主党  
**矢吹栄修** 議員  
(天童市選挙区)

◆ モンテディオ山形新スタジアム など

## 栗子山隧道（米沢市）

※本文では、栗子山隧道の名称を「栗子山隧道工事 始末記」の呼称に基づいて表記しています。

「土木県令」とも呼ばれた初代県令・三島通庸（みちつね）は、明治政府が掲げた『殖産興業』を実現するため、積極的に道路整備などの土木事業を進めました。その代表的な遺構が栗子山隧道です。栗子山隧道は山形から福島を結んで東京へ向かう最短ルートとして昭和41年に現在の国道13号が開通するまで重要な役割を果たしました。

この隧道は明治9年の試掘を経て、山形側と福島側の双方から掘削が進められました。明治13年のトンネル貫通の際には現場近くに詰め

ていた三島も、歓喜の輪に加わったと伝えられています。明治14年に

竣工した栗子山隧道は全長

約876メートル。その開

通式には明治天皇もご臨席

されました。翌明治15年2

月には栗子山隧道を含む米

沢から福島までの道につい

て、明治天皇より「萬世大

路」の名が下賜されました。

5月22日（金）からは、

県立博物館にて特別展「県

政150周年・昭和10

0年記念特別展 土木イ

ンフラストラクチャー

県土に路を拓く」を開

催します。ぜひご来館く



栗子隧道西口視察写真(中央の帽子とステッキを持っているのが三島通庸)  
画像提供: 那須塩原市那須野が原博物館

## 万国の人来り見よ

### 雲はるる蔵王（やま）の山のその全（また）けきを

『つきかげ』

明治15年、山形県南村山郡金瓶村（現・上山市金瓶）で守谷家の三男として生まれた茂吉は、14歳の時、東京浅草で浅草医院を開業していた同郷の斎藤紀一のもとで医学を学び、斎藤家の養子となつて後を継ぐために、開成尋常中学校（現・開成中学校・高等学校）に編入学します。

長じて精神科医となり、日本を代表する歌人となった茂吉ですが、生涯を通してふるさと上山の自然に対する思いは変わりませんでした。昭和25年に毎日新聞社の「新日本観光地百選山岳の部」で蔵王が1位に選ばれた際、雲が晴れて姿を現した蔵王山の美しい全貌を誇らしげに称えつつ、世界中の人々に実際に来て見てほしいとの思いで、この「万国の」の歌を詠みました。

没後、蔵王上の台に歌碑が建立され、JR山形駅構内にもこの歌を刻んだレリーフが設置されています。

山形県は、米国メディア「ナショナル・ジオグラフィック」が発表した「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に国内で唯一選ばれました。多くの国々から旅行者が訪れています。茂吉が、

今の状況を

知ったら、

どんな歌を

詠んだで

しょうか。



レリーフ(部分)



東京新宿大京町の自宅にて文化勲章受賞の日  
画像提供: (公財)斎藤茂吉記念館

背景画像: やまがた景観物語 (注)旧字体は新字体に改めて表記しています。

問い合わせ ◎ 広報広聴推進課 ☎023-630-2534



## やまぎん県民ホールイベント情報

### それいけ!アンパンマン ミュージカル「まもれ!黄金の炎」

アンパンマンとなかまたちの歌とおどりがいっぱいなミュージカル形式のステージショー。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

開催日時	5月17日(日) 1回目:正午 2回目:午後3時
出演	アンパンマン・しょくばんまん カレーパンマン ほか
料金	全席指定(税込) ※3歳以上有料 前売券・当日券3,600円

◎詳しくは やまぎん県民ホール

### エクストリーム・シチュエーションコメディ(kcal) 『汗が目に入っただけ』

鈴木保奈美と気鋭の脚本・演出家 冨坂 友の最強タッグが贈る待望の新作コメディ。



開催日時	5月23日(土)午後6時 5月24日(日)午後1時
出演	鈴木保奈美、足立梨花、小越勇輝、西野創人(コロコロチキチキペッパーズ)、蘭寿とむ、田中要次 ほか
料金	全席指定(税込) S席9,800円 A席8,000円 U-18 4,000円 ※お一人様6枚まで ※当日券500円アップ

### トヨタコロラ山形 presents めざましクラシックス in 山形

卓越した美貌と演奏能力、そして抜群のトークセンスを誇る人気ヴァイオリニスト高嶋ちさ子とフジテレビアナウンサーでありながら、大のクラシック通である軽部真一による人気コンサートシリーズ!



開催日時	7月5日(日)午後3時
出演	高嶋ちさ子(ヴァイオリニスト)、軽部真一(フジテレビアナウンサー) ほか
料金	全席指定(税込) S席7,000円 A席6,500円 B席5,000円 U-20 2,500円

◎ やまぎん県民ホールチケットデスク  
☎023-664-2204 (受付時間:水~月 10:00~19:00)



## 山形交響楽団演奏会

### ユアタウンコンサート 村山公演

開催日時	5月17日(日)午後3時
出演	指揮:阪哲朗、ヴァイオリン:吉本梨乃 ほか
演目	モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」K.492序曲、ヴェルディ:歌劇「アイダ」-第2幕「凱旋行進曲」、佐藤眞:『蔵王』より「早春」 ほか
会場	村山市民会館(村山市)
前売券	一般3,000円 高校生以下1,000円

◎詳しくは 山響

### 第333回定期演奏会

開催日時	5月23日(土)午後7時 5月24日(日)午後3時
出演	指揮・ホルン:ラデア・パボラーク
演目	モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527序曲、パボラーク:Orangerie~ホルン、弦楽と打楽器のための〜<日本初演>、シベリウス:交響曲 第3番 八長調 作品52 ほか
会場	山形テルサ(山形市)
前売券	A席5,500円 B席5,000円 ほか

◎ 山響チケットサービス ☎023-616-6607  
(受付時間:月~金 10:00~17:00)  
◎ 県民文化芸術振興課 ☎023-630-2903



## プロスポーツゲーム情報

### 「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時	対戦チーム
5月3日(日・祝) 午後2時	栃木SC
5月6日(水・休) 午後2時	ザスパ群馬
5月10日(日) 午後2時	SC相模原
5月24日(日) 午後2時	湘南ベルマーレ

◎会場:NDソフトスタジアム山形(天童市)

◎詳しくは モンテディオ山形

※最新の情報はホームページをご覧ください。

◎ スポーツ振興課 ☎023-630-3156

## 庄内の酒粕

◎販売時期:通年

日本酒を造る工程でできる「酒粕」は、料理にコクと旨みを与えます。17の酒蔵がある庄内地域には、風味が異なる多彩な味わいの酒粕があり、寒鰯汁や漬物に使われるなど地域の食文化に欠かせない食材です。孟宗汁に加えると、旬の孟宗の風味が一段と際立ちます。



問い合わせ ◎ 庄内総合支庁地域産業経済課 ☎0235-66-5490

●材料(5人分):孟宗1.5kg、厚揚げ1/2枚、椎茸4枚、豚肉150g、酒粕100g、みそ(適量)、煮干し7本

●下準備:新鮮な孟宗は、そのまま皮をむいて水洗いする。収穫から時間が経った孟宗は、外皮を2~3枚むき、米のとぎ汁や赤唐辛子を加えて下ゆでするとえぐみが和らぐ。

●作り方:①孟宗は乱切りにする。厚揚げと椎茸は食べやすい大きさに切る。②鍋に孟宗、煮干し、水を入れて火にかける。③孟宗が煮えたら豚肉、椎茸を入れる。酒粕とみそを入れて味を調えたら厚揚げを加え、ひと煮立ちしたらできあがり。



工法の実演や防災知識を楽しく学べる防災展などさまざまな防災を体感できます！地元自治体による物産展も開催します。入場は無料です。ぜひ、ご来場ください。

◆日時 5月31日(日)

○総合水防演習 午前9時～

○防災展・物産展

午前8時～午後2時

◆場所 酒田市下瀬地先(出羽大橋下流)

◆主催 流域5市町、山形県、国土交通省東北地方整備局



詳しくはこちら▶

☎ 河川課 ☎023-630-2611

## お知らせ

### 最低賃金の引上げに伴い 賃金を引き上げた

#### 事業者の皆さんを支援します

◆申請期間 9月30日(水)まで(予算上限に達し次第受付を終了)

#### ◆支援要件

令和7年10月1日から令和7年12月23日までの間に、時給1,032円未満の従業員の時給を64円以上引上げ、1,032円以上とすること(遡及適用も可とする)など

#### ◆支援金額

対象となる従業員1人あたり

引上げ額	正規雇用労働者	非正規雇用労働者
77円以上の引上げ	5万円	3万円
64円以上77円未満の引上げ	4万円	2万円

※ただし、非正規雇用労働者は週の所定労働時間が20時間以上

#### ◆支給上限

1事業者最大50万円

特設サイト

詳しくはこちら▶



☎ 山形県賃金引上げ緊急支援事業事務局 ☎0570-025-802

☎ 雇用・産業人材育成課

### 5月14日(木)から20日(水)は ギャンブル等依存症問題 啓発週間で

「ギャンブル等依存症」とは、ギャンブルなどにのめり込み、やめたくてもやめられない、自分の力だけではコントロールできなくなる状態のことで、日常生活や社会生活に支障が生じることがあります。適切な治療と支援により回復が可能です。ご家族からの相談も受け付けています。

## 県政150周年・昭和100年記念 特別展

### 「土木インフラストラクチャー ～県土に路を拓く～」

展示期間 5月22日(金)～8月30日(日)

今年(明治9年(1876年))に山形県、置賜県および鶴岡県が統合され、現在の山形県が成立して150周年です。また、昭和元年(1926年)から100年になります。これを記念し、社会基盤である「土木インフラストラクチャー」をテーマとした特別展を開催します。また、特別展では、「触れられる展示：ハンズオン」のコーナーも設けますので、山形県の大地の感触を実感してください。

#### ◆展示内容

山形県の鉄道・道路・空路・海路・水路の変遷に関する資料、地質調査の歴史、山形県の岩石・鉱物など

☎ 県立博物館 ☎023-645-1111

時間・入館料など  
詳しくはこちら▶



相談窓口など  
詳しくはこちら▶



☎ 障がい福祉課

☎023-630-2240

### 地震対策のための 住宅改修・住替えに助成します

地震から命と財産を守るため、住宅の耐震改修や減災対策、住替えに対する支援を行います。今年度は補助上限額を引き上げ、「住替え」を新たに補助対象に追加しました。ご自宅の状況に合わせた地震対策を進めましょう。

#### ◆対象住宅

平成12年(2000年)5月31日以前に着工された住宅

補助対象	補助上限額
・耐震改修	最大140万円
・減災対策 ・住替え	最大30万円

※募集期間および補助条件などは市町村により異なります。

申請窓口など  
詳しくはこちら▶



☎ 建築住宅課 ☎023-630-2640

### 県立博物館

#### こどもの日 無料開館

皆様のご来館をお待ちしています！

◆日時 5月5日(火・祝日)

午前9時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

☎ 県立博物館 ☎023-645-1111

### 自動車税の納期限は 6月1日(月)です

自動車税は、納税通知書に地方税統一二次元コードが印字されていれば、ク

レジットカードやスマートフォン決済アプリを利用した納付ができます。また、お近くのコンビニエンスストア、金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課でも納付できます。詳しくは地方税お支払サイトおよび県ホームページをご覧ください。



地方税お支払サイト 県ホームページ

☎ 税政課 ☎023-630-3347

### 家庭教育電話相談

#### 「ふれあいほっとライン」 家庭教育の悩み、ご相談ください

子育てや家庭教育に関する不安や悩みを相談員が寄り添ってお聞きします。お子さんからの直接の相談にも応じます。お気軽にご利用ください。

#### ◆電話での受付

☎023-630-2876 月曜日～金曜日

(土・日・祝日・年末年始除く)

午前8時30分～午後5時15分

※相談員による受付時間

午前9時～午後4時15分

#### ◆FAX・電子メールは24時間受付

FAX 023-630-2874

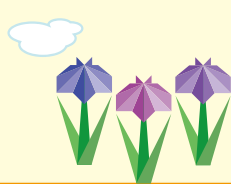
E-mail: yshogaku@pref.yamagata.jp

※返信は後日になります

#### ☎ 教育局生涯教育・学習振興課

☎023-630-3344





# おいしい山形 インフォメーション



## 試験

### 山形県職員採用試験

今年度の県職員採用試験を、以下のとおり実施します。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
大学卒業程度	4月24日(金) ～5月21日(木)	6月21日(日)
短大・高校卒業程度 市町村立学校事務職員	8月3日(月) ～8月28日(金)	9月27日(日)
警察官A (大卒程度)	4月24日(金) ～6月15日(月)	7月12日(日)
警察官B (高校・短大卒程度)	7月10日(金) ～8月24日(月)	9月20日(日)

#### ◆受験案内配布開始日

大学卒業程度 配布中  
短大・高校卒業程度 8月3日(月)  
市町村立学校事務職員 8月3日(月)  
警察官A、警察官B 配布中

#### ◆配布場所

県庁(1階受付、15階人事委員会事務局)、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)

ダウンロードなど  
詳しくはこちら▶



問 人事委員会事務局 ☎023-630-2782

### 山形県公立学校教員選考試験

今年度の県公立学校教員選考試験(1次試験)を、以下のとおり実施します。大学3年次特別選考や東京会場での受験については、今年度も引き続き実施します。出願は電子申請で行います。

#### ◆試験日 7月11日(土)

#### ◆受付期間

4月20日(月)～5月12日(火)

#### ◆昨年度からの変更点

- ①元職教員特別選考および現職教員特別選考の出願要件の緩和
- ②東京会場の対象職種・教科の拡大
- ③秋選考の本格実施
- ④加点制度の拡大
- ⑤適性検査のオンライン化

実施要項など  
詳しくはこちら▶



問 教育局教職員課

☎023-630-3406

### 山形県病院事業局

#### 職員選考試験(看護師)

今年度の県立病院の職員選考試験を、

以下のとおり実施します。

#### ◆試験日 6月20日(土)、21日(日)

#### ◆受験案内配布開始日 配付中

#### ◆申込受付期間

4月24日(金)～5月21日(木)

#### ◆配布場所

県庁(1階受付、12階県立病院課)、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)※県ホームページからもダウンロードできます。

臨時職員についても各県立病院で随時募集を行っております。

詳しくはこちら▶



問 県立病院課

☎023-630-2167

### 令和8年度狩猟免許試験

今年度の狩猟免許試験を、以下のとおり実施します。

会場	試験日	申込受付期間
庄内会場 (庄内総合支庁)	7月18日(土)	6月8日(月) ～6月22日(月)
置賜会場 (置賜総合支庁)	8月22日(土)	7月6日(月) ～7月21日(火)
村山会場① (村山総合支庁)	9月12日(土)	8月3日(月) ～8月17日(月)
村山会場② <small>※わな猟のみ</small> (村山総合支庁)	9月13日(日)	
最上会場 <small>※銃猟のみ</small> (最上総合支庁)	12月4日(金)	10月26日(月) ～11月9日(月)
西村山会場 <small>※わな猟のみ</small> (西村山地域振興局)	令和9年 1月22日(金)	12月14日(月) ～12月25日(金)

#### ◆申請書類配布場所

県庁みどり自然課、各総合支庁環境課(分庁舎除く)

ダウンロードなど  
詳しくはこちら▶



問 みどり自然課 ☎023-630-3404

## 募集

### 新やまがた就職促進奨学金返還支援事業 ～助成候補者募集～

学生やUターン希望の社会人を対象に、県内で就業・定住した場合の奨学金返還を支援します。

#### 学生の方(大学・短大・専門学校など)

#### ◆やまがた若者定着枠(定員230名)

#### ◆企業連携支援枠(定員50名)

◎募集時期:5月18日(月)～6月30日(火)  
(企業連携支援枠は9月30日(水)まで)

◎支援額:2万6千円×令和8年4月以降の奨学金貸与月数(企業連携支援枠は支援額に10万円を加算します)

社会人の方(県内の中学・高校または大学などを卒業した40歳以下の県外在住者)

#### ◆Uターン促進枠(定員40名)

◎募集時期:5月18日(月)～10月30日(金)

◎支援額:県内居住・就業開始時点での奨学金返還残額(上限60万円)

申込方法など  
詳しくはこちら▶



問 産業創造振興課

☎023-630-2691

### 山形県病院薬剤師奨学金返還支援事業(貸与型)募集受付中

新たに県内の病院で薬剤師として勤務する方の奨学金返還の一部を支援(貸与)します。貸与した金額は一定期間勤務することで返還免除になります。令和9年度からの貸与を希望する方を「予定者」として募集します。

#### ◆募集定員 30名程度

#### ◆1次締切 8月31日(月)

2次締切 10月30日(金)※

※1次で定員に満たない場合のみ

#### ◆貸与額 年間最大60万円

#### ◆貸与期間 最大6年間

詳しくはこちら▶



問 健康福祉企画課

☎023-630-2333

### 地域の湧水を大募集!

地域で守り、大切にしている湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、県内外に広く紹介しています。ぜひご応募ください。

#### ◆募集期間

5月15日(金)～6月30日(火)

#### ◆応募対象となる湧水

良好な水質と水量を有し、地域で保全活動が行われている湧水など

#### ◆応募者

保全に携わっている方・団体

応募方法など  
詳しくはこちら▶



問 水大気環境課

☎023-630-2204

## 催し物

### 最上川下流・赤川総合水防演習

毎年5月を「水防月間」と定め、月間活動の一環として、水防演習を実施しております。当日は、水防団による水防



# どうなってるの!?

## じんまちちゅうとんち こうへん 神町駐屯地 後編

### おお さいがい お とき じえいたい かつどう 大きな災害が起きた時、自衛隊はどんな活動をしているの?

そうさく きゅうじょ ぶつし うんぱん おこな  
**捜索・救助・物資の運搬など、さまざまな活動を行います**

大きな地震や大雨などが原因で道路が壊れたり土砂崩れが  
発生したりすると、助けを必要とする人が出ます。そうした時は、  
都道府県知事からの要請を受けて、すぐに現地へ向かいます。

現地では、警察や消防と協力して捜索活動や人命救助を行い、  
けがをした人を手当てします。その後は、食料・水など生活に欠

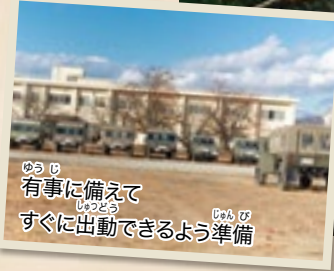
かせない物資の運搬、壊れた道路などの応急修  
理や、入浴支援のための移動式のお風呂の設置・

運営など幅広い活動を行います。

自衛隊は国民の生命や財産を守るため、日々さ  
まざまな訓練を重ねており、災害が起きた際には、その力を生かして被災地で迅速かつ安全に  
人を助けられるように備えているのです。



大規模な災害では、救助やさまざまな  
支援活動を行っています



有事に備えて  
すぐに出勤できるよう準備



山火事が起きた時は、ヘリコプターによる  
空中消火に加え、山中へ入り、手作業に  
よる消火や延焼防止作業も行います。



第20普通科連隊長  
南條 衛 1等陸佐

第20普通科連隊は山形県の防衛および災害  
対処任務を有し、令和6年には南陽市・高島町  
の林野火災および酒田市・戸沢村の大雨に係  
る災害派遣を行い、住民の方々の期待に応え

られたものと感じています。  
いかなる任務にも即応完了、県民の皆さまに最も強く信頼される部  
隊を目指し日々の業務に励んでいます。

